



熊本県 PTA 新聞

熊本県PTA連合会
www.kumamoto-pta.com
〒860-0842 熊本市中心区
南千反畑町3-7
熊本県総合福祉センター4F
TEL(096)354-5919
FAX(096)354-5913
✉ info@kumamoto-pta.com

●発行責任者 田中万里
●単位PTA数 346
●発行部数 73,000部
印刷 株式会社キャップ
TEL(096)362-3333
制作 ワタナベデザイン
TEL(0969)22-1089
監修 熊本県人権教育研究協議会

2-3面	第48回熊本県PTA研究大会やまが大会報告
4面	HP山形大会九Pおきなわ大会報告
5面	豪雨災害交付金の使途について中間報告(デー・読書)親子ふれあいデー活動報告ふれあい読書研究会報告
6面	単P紹介三行詩コンクール紹介家庭部会研修会報告
7面	熊本県PTA共済小・中学生総合保障制度委員会報告
8面	令和4年度「熊本心」優秀作文九P佐賀大会案内IP・県教委・九P等表彰編集後記

第48回 熊本県PTA研究大会

やまが大会の開催に感謝

学んだことを活かす行動を



熊本県PTA連合会
会長 田中 万里



第1会場の開会行事の様子

11月12日、「第48回熊本県PTA研究大会やまが大会」では、県内各地からPTA会員の皆様をはじめ、多数のご来賓をお迎えし開催できましたことに心から感謝申し上げます。「進化の時」という大会スローガンのもと、各分野で活躍されている講師を招き、これからの時代を見据えた新しい取り組みや地域の特色を生かした質の高い発表内容は、私ども会員の今後にとって深く、そして、幅広く学ぶ貴重な時間となりました。改めて、



県議会議長 溝口 幸治様



県教育庁 市町村 教育局长 古田 亮様



山鹿市長 早田 順一様

ご尽力いただき「学びの場」を創っていただいた実行委員会をはじめとする関係者の皆様に重ねて御礼申し上げます。そして、何より一人ひとりが大会で学んだことをこれからのPTA活動や家庭での子育てに活かしていただければ嬉しく思います。まさにその行動こそが「進化の時」本大会の大きな成果となるのです。

これからも子育てを通して得た「二期会」の出会いを大切に、PTA活動を楽しましましょう。熊本県PTA研究大会「やまが大会」では、県内各地より多くの会員の皆様方にご参加いただき誠にありがとうございました。講師全員が山鹿市出身、山鹿市小中学生によるアトラクション演出など、山鹿を表現した大会にすることにこだわってきました。また、参加者やスタッフに負担のかからない日程構成を模索し、進化を意識した今の時代だからこそできる新しい形での大会開催に努めたところです。

今回、参加できなかった会員の皆様には、大会すべての講演を動画配信していきますので、是非ご覧いただき、今後のPTA活動に「やまが大会」で学んだことを活かす行動を、ご活用ください。大会は終了しましたが、これからが大会テーマである「進化の時」のスタートです。子どもたちの健やかな成長のために、PTAも進化していきましょう。最後に大会の準備運営に関わってくださいました全ての皆様方に心から感謝を申し上げます。



開会行事で教育委員会表彰を受けた藤井さん(左)、園田さん(中央) 知事表彰を受けた村崎さん(右)



閉会行事の最後には、やまが大会の永田実行委員長から県Pの田中会長へ返された「大会の鍵」があしきた・みなまた大会の下山実行委員長に渡されました。



やまが大会実行委員会
委員長 永田 壮広

PTAも進化していきましょう

様々な困難に直面する現代ですが、その中で「繋がり」の重要性を強く感じ、大会テーマを「つながり大学」としました。会場をキャンパスに見立て、「繋ぐこと」を学んでいただけるように計画しています。また、会場を学校をイメージして楽しんでいただけるよう設営します。



大会実行委員会
委員長 下山 幸之助

第49回熊本県PTA研究大会
あしきた・みなまた大会
令和5年11月11日(土)開催



やまが大会 全体会の最後 ステージに上がり次回開催「あしきた・みなまた大会」のPRをおこなった葦北・水俣エリアPTAのみなさん



皆様の
ご入学を
心よりお
待ちして
おります！

第48回熊本県PTA研究大会 **やまが大会** Report

やまが大会

第48回熊本県PTA研究大会



第3会場のアトラクション 山鹿小学校



第1・2会場のアトラクション 山鹿灯籠踊り保存会



第1・2会場 山鹿市総合体育館



第4会場のアトラクション 鹿本中学校吹奏楽部



第4会場のアトラクション 鹿本農業高校郷土芸能伝承部



第1・2会場のアトラクション 山鹿中学校太鼓部



新型コロナウイルス感染症対策(第1会場)

報告

eスポーツの可能性に驚き



真田 正博 教養委員

私は、今回初めて研究大会に参加しました。第1会場では、まず初めに山鹿中学校の生徒による力強く躍動感のある太鼓の演奏、次に山鹿灯籠踊り保存会による美しく幻想的な山鹿灯籠踊りに心を奪われてしまいました。

第1会場では、eスポーツについて、福岡eスポーツ協会会長の中島賢一様にご講演いただきました。新しいスポーツであるeスポーツの競技人口は全世界で1.3億人にものぼり、年間20兆円を超える市場規模となっています。そのeスポーツを利用した地域貢献や国際交流、高齢者の健康維持、障害を持つ方でも一緒に楽しめるハード面の開発、教育分野への進出など、今eスポーツが色々な分野で社会に応用されていることに、とても驚きました。

中島様の講演の中でも、私の中で最も心に残っているのは、「楽しいが、学びのハードルを下げてくれる」という言葉でした。これは、どの分野においても通じる事だと思いました。

これからは、子どもたちがどうすれば、楽しみながら学んでいけるのか？という点を考えながら子どもたちと共に学んで成長していければと思っております。

これからも研究大会に参加し、楽しみながら学んでいきます。

記念講演

第1会場 山鹿市総合体育館第1アリーナ

eスポーツ2.0

eスポーツがインストールされた社会がもたらす新しい価値

講師 福岡eスポーツ協会会長 中島賢一様

運営責任者 教養委員長 下山幸之助
会場責任者 実行委員 真田 浩之

感想

子どもたちの未来を広げる



水俣市立水俣第二小学校PTA 姫野 秀一

ひと月ほど前に古い友人とeスポーツについて話した事がありました。

そして今回、まさに第一線でご活躍の中島様のお話を拝聴できた事は幸運で大変勉強になりました。判断力やひたむきさに加え、品質管理や業務管理の改善手法であるPDCAサイクルやOODAループを身に付ける事ができる「学ぶためのゲーム」ではない「その中に学びがあるゲーム」は魅力的で、ポジティブに受け入れる事で子どもたちの未来を広げる行動に繋がるのではと感じました。

私たちが想像もできないような未来が、案外そこまで来ているのかもしれない。ゲームの有用性を生かしながら能力を伸ばすという考え方やeスポーツを将来の夢にするという新しい選択肢を柔軟に且つ今後の楽しみとして

受け入れ、更なる業界の発展を大いに期待したいものです。



第1会場の様子

順次公開予定です。

動画視聴はコチラから



<https://r.qrqrq.com/DQKQkqOG>

報告

楽しめたアイスブレイク



総務副委員長 松本 啓佑

第48回熊本県PTA研究大会が山鹿の地で開催され、多くの保護者・教職員の方にご参加いただきました。

所属する総務委員会では第2会場を担当しました。第2会場は、濱武紀久子様をお招きし、特別支援「みんな違ってあたりまえ」のテーマについて講演いただきました。子どもたちにはそれぞれ個性があり、障害のある子どもたちとの接し方など、わかりやすくお話いただきました。また、講演中はお話だけでなく、紙と筆記具を使い、見本に書いてあるいくつかの図形を言葉だけで参加者に伝え、参加者がそれを紙に書き、見本の図形と照らし合わせるというアイスブレイクがあり楽しい時間を作っていました。伝え方、相手の難しさもわかり、とても学び多き時間となりました。ご参加ありがとうございました。

特別支援

第2会場 山鹿市総合体育館第2アリーナ

みんな違ってあたりまえ

認め合い、支え合う社会を目指して

講師 熊本県立かもと稲田支援学校教諭 濱武紀久子様

運営責任者 総務委員長 吉村俊彦
会場責任者 実行委員 船津 理文

感想

個性を認め合う人に



荒尾市立荒尾第三中学校PTA会長 大通 恵美

今回の講演では支援が必要なお子さんが増えてきていることに触れられており、発達障害についてもわかりやすく説明をしていただきました。障害の特性についても疑似体験で知ることができ、大変有意義な時間となりました。

今回の講演で一番心に残った言葉があります。それは「障害」は環境の変化によっては「個性」になる」です。この環境とは私たち一人ひとりの見方・考え方ではないかと感じました。

この講演をきっかけに私自身が環境(見方・考え方)を変え、個性を認め合うことができるような人になりたいと思います。

最後になりましたが、貴重な学びの時間を体験できた大会実行委員の皆様には心より感謝申し上げます。



第2会場の様子

「進化の時」 ～歴史と未来 交わる山鹿発 新しい絆を～



「進化の時」
 ～歴史と未来 交わる山鹿発 新しい絆を～
 期日 令和4年11月12日(土)
 主管 山鹿市PTA連絡協議会
 後援 熊本県、熊本県教育委員会、山鹿市、山鹿市教育委員会
 一般財団法人熊本県PTA教育振興財団



食育
 第3会場
 八千代座

進化する里山農業

講師 (株)パストラル代表取締役 市原 幸夫様

運営責任者 広報委員長 亀崎 清貴
 会場責任者 実行委員 飯田 孝行

報告 皆様の記憶に残る大会に



広報委員
 田中 亮

伝統的文化財と現代の融合、最初に八千代座でPTAの大会と聞いたときは驚きを隠せませんでした。いざ八千代座に初めて視察に行き花道や舞台や奈落を見学させていただいたとき、ふつと浮かび上がる演出。きつと来られた会員の皆様の記憶に残るすごい大会になるなど自信とプレッシャーを感じました。

大会当日、出囃子や花吹雪等の演出があり、八千代座で開催する意義が達成でき大成功の裡に幕を閉じました。ただこの大会の成功を八千代座で開催したから、演出があつたからで終わらせられません。

一番の成功のきっかけは山鹿の実行委員のおかげといっても過言ではありません。そこに県PTA理事という個性(うまみ)を加えたことで成功したと思います。

山鹿の実行委員の皆様お疲れさまでした。



第3会場のような様子

感想 PTA活動を通してまちづくりを



山鹿市立 三玉小学校 PTA副会長
 米加田 明伸

今回の講演のテーマは食育という点で、ビジネスにも触れていただきました。

あいごも農法の話では、きれいごとの無農薬農業、減農薬農業という話ではなく経営ビジネスとしての農業の話をしていただき、大変感銘を受けた次第です。

私自身、昨年熊本にUターンし、実家の兄の元で農業に従事しております。第1次産業が少しでも活性化できればと思っております。

最後に市原様も言われましたが、今後魅力ある地元のことを大人みんな考えていき、将来子どもたちが山鹿市に帰ってきたときに思いうまちづくりをし、PTAを通して活動していければと思っております。大変ご多用の中、講演をありがとうございました。

「やまが大会」動画配信について 3月から



家庭教育
 第4会場
 菊鹿グリーンパルス(あんずの丘多目的体育館)

子どもたちに手渡していきたい本の世界

読み聞かせから育む子どもたちの真価

講師 読み聞かせボランティア あわぶつく代表 前田 恵美子様

運営責任者 家庭教育委員長 橋本 昭
 会場責任者 実行委員 松尾 良子

報告 大人も本を手に取り学び『進化』していこう



家庭教育委員
 辻本 幸之助

読み聞かせの効果をより高めるために、読み手もどう進化するかという視点から多くの学びがありました。

本の分類や選び方を知っておくこと、子どもたちには感想を求めず、安心とやすらぎを感じる雰囲気づくりを心がけると、読み手は背伸びせず、できるところから楽しんで読み聞かせることが大切とのことでした。

絵本は読む年齢によって捉え方が変わり、小中学生、大人になってもたくさん本を読むことで感性を高めることができそうです。

感想 読み聞かせの神髄を知ることができた



天草市立 稜南中学校 PTA会長
 なしかぶ 良紀

自分自身の中で読み聞かせのどれが正しくて、何が間違いなのか、正直分かっていない中、参加をいたしました。

今回のご講演を通じて、読み聞かせは子どもたちにとっても保護者にとっても、身近なものであり、とても有意義なものであることを十分に知ることができました。特に、印象に残ったことは、「読む側は読むことに集中し、子どもが聞いているか振り向いたりしなくてもいい。単純なことだけど、聞く側も物語に集中できる。」という言葉で、読み聞かせの神髄を知ることができたことにも大変奥が深い活動であると痛感いたしました。

今回の講演会の内容を活かし、これからのPTA活動を充実させていきたいと思っております。



第4会場のような様子

第70回日本PTA全国研究大会

報告

山形大会

2022年8月26日(金)・27日(土)

『人とひとのつながりを体感しよう!』

～あがらっしゃい精神の山形から～

メインテーマ



- 「いのち」のつながりを感じ、次代につなぐPTA活動
- 「ふるさと」を愛し、心をつなぐPTA活動
- 生きる力を「まなび」、次代につなぐPTA活動
- 多様な「つながり」から、子供たちの未来を切りひらくPTA活動

報告

対面で学ぶ大切さ



松本 美恵
会計理事

地元山鹿と響きが似ていて親近感を抱きつつ、これまで縁が無かった山形県で開催された研究大会に、熊本市PTA協議会の方々と同行で参加させていただきました。

家庭教育分科会は、子育てやPTA活動における悩みや課題は全国共通で、地域や人とのつながりの大切さ、目指す姿は楽しいPTA活動など、共感できる内容でした。

全体会の交響楽団の演奏会という山形らしさが表れた記念講演は、開催地の想いを尊重した大会の在り方を体感できました。

コロナ禍で失われていた対面で学ぶ・交流する機会。雄大な山々や田畑が広がる風景、人々の温かさ、空気感。リモート(間接的)では感じることの出来ない、ローカル(直接的)ならではの貴重な経験ばかりでした。

報告

ICTの活用が重要



吉村 俊彦
総務委員長

史上最多8回の冬季オリンピックに出場したスキージャンプ、葛西紀明氏の基調講演で幕を開けた第6分科会。テーマである「情報教育」についての実践発表、パネルディスカッションが行われ、デジタル社会におけるICTの有効活用とその問題点について熱心な討議が行われました。

児童・生徒に対する「二人一台端末」の整備が進み、ICT教育への取り組みに注目が集まる中、学習活動だけでなく教職員の働き方改革や、学校と家庭とのつながりにおいても、今後ICTをうまく活用することが重要であることを学びました。一方でいじめ・不登校の要因となるネットトラブルの深刻な現状を知り情報モラル教育や子どもたちに対する相談体制の重要性を強く実感しました。

報告

提言の言葉に胸が熱くなった



川野 雄作
総務委員

おきなわ大会第1分科会は佐賀県小城市立三里小学校と長崎県佐世保市立三川内中学校からの提言でした。

どちらの学校も少子化の影響による生徒数の減少が続いている環境におかれており、地域との連携を軸に如何にして未来につなげていくのかについての討議が行われました。

両校ともに保護者・学校・地域が豊かに関わりあいを持つことを大切にされ、地域ぐるみの活動を継続されていました。

結びに『我が子のおかげでPTA活動に参加できることに感謝し、成長に喜び、幸せをわかち合えるPTAをめざしたい』三川内中学校PTA笹口会長の言葉に胸が熱くなりました。



第67回日本PTA九州ブロック研究大会

おきなわ大会

報告

大会スローガン『ひろげ・つなぐ・未来へのリレー』〜結の瞬間で〜

開催日 令和4年 12月17日(土)

12月18日(日)

第1分科会 組織・運営

討議題【未来】

- 地域と連携したPTAの組織・運営の在り方
- (1)危機的状況時における地域連携の組織運営
- (2)状況変化に対応し未来へつなぐ組織・運営

第2分科会 家庭教育

討議題【新しいカタチ】

- 「親子で考える」予測困難な社会を生き抜く生きる力
- (1)固定概念を打破する新しい学びの場
- (2)新生活様式に対応した家庭環境作り

第5分科会 広報・地域連携

討議題【発信と連携】

- 魅力ある広報活動を通じた「学校・家庭・地域」の連携による社会教育の推進
- (1)魅力ある情報発信とは
- (2)生活環境および時代の変化に即した学校と地域の在り方

特別分科会 討議題【命】

- 持続可能なPTA活動
- (1)広い視野で物事を捉え、目標達成を図るPTA活動
- (2)「命を守る」ことを意識したPTA活動

報告

地域とのつながりの大切さ



田尻 清孝
教養副委員長

第2分科会は、宜野湾市民会館にて家庭教育「新しいカタチ」のテーマで開催されました。

前半は福岡市立春住小学校の提言で、元永PTA会長からコロナ禍で活動が制限される中、地域を巻き込んだライフトアップワークについての話がありました。学校を地域という海に浮かぶ船に例えた話が印象深く、船頭は先生と保護者で、地域とのつながりの大切さを提言いただきました。

後半は宮崎県日向市立財光寺中学校の提言で、河野PTA顧問からコミュニティスクールの最終目標は地域づくりであること、学校運営協議会がそのための重要な役割を果たしていることについて話がありました。協議会役員に地元区長などの地域コーディネーターを加え、その方々を通じて人財を発掘し、子どもたちの教育に役立てていること。特に地域のまつりを通じて伝統文化をつないでいく取組はたいへん興味深いものでした。教師やPTA役員は変わっていても、地域の方々は変わらないうことで協議会の取組が続いていくことを提言いただきました。

報告

地域連携の重要性を再認識



中川 博文
人吉市立第一中学校PTA会長

第5分科会は、「魅力ある広報活動を通じた「学校・家庭・地域」の連携による社会教育の推進」という討議題でした。

福岡県北九州市立大谷小学校は、北九州市立大学協力のもと、子どもたちのメディアへの依存防止と依存からの脱却を目的として、スマホやゲームに頼らない遊びを実施しながら子どもたちの悩みを聞き、学校やPTAにフィードバックするという「大谷子ども教室」の事例を紹介されました。

熊本県人吉市立第二中学校は、PTA新聞発行の工夫で得られた効果、令和2年7月豪雨災害発災後のPTA、人吉市PTA連絡協議会の取り組み、二中校区の小中学校が連携して取り組んだ事例の紹介でした。

報告

親の背中を見せる



東 知史
広報副委員長

今回「命」をテーマにした特別分科会シンポジウムという事で熊本での災害体験者目線で参加させていただきました。防災において地域とPTAの関係とは、緊急時にどう子どもたちの命を守るか、地域の方々の経験談を活かし日頃から子どもたちには知っておいてもらう。そのためにはお互いがどのような活動をすれば良いか。地域は違いますが考え方は同じではないかと思えます。

私たちが熊本地震でたくさんの方々の命を救いました。この体験談を地域で話す事によって実際に子どもたちにボランティア精神が芽生えてくれました。私は「親の背中を見せる」これが全てではないかと思えます。まず私たち大人が学び「志」を肌で伝え、子どもたちにもたせる。話をよく聞き、何ことも経験して学び、吸収して、感謝する心を忘れない沖縄県の教育方針を感じた大変すばらしい大会でした。

豪雨災害支援金の 使途について



芦北町立
佐敷小学校
PTA会長
徳永 純也

令和2年7月豪雨で被災し、水害で使用できなくなつてしまつた本棚を制作したく、熊本県P連合会のご協力により、被災支援金を活用させていただきます。

佐敷小学校は、もともと町内の木材を活用した校舎で建てられており、単Pで検討した結果、ぜひ町内木材を活用した本棚を作りたく、多方面の方の協力で実現できたことに感謝申し上げます。

令和3年のふれあい読書研究会委嘱校としても認定いただいたこともあり、読み聞かせの本を導入することで、そのサイズに見合った本棚が導入できたことも嬉しく思います。

今後は継続的に読み聞かせを行なつていただける方の人員確保に努め、大切に永年使用させていただきます。災害がないことが一番ではありますが、こういったご協力に心を強く前に進んでいけることに深く感謝申し上げます。



図書室の本棚

親子ふれあいデー活動 ふれあい読書研究会

中間報告と 意見交換



家庭教育委員
村上 聖子

家庭教育委員会では家庭・学校・地域において自然とふれあい、友人や地域の人々と広い人間関係を作る『親子ふれあいデー活動』や、読み聞かせ読書活動の活性化や、子どもたちの豊かな心を育てることを目的とする『ふれあい読書研究会』を行つており、今年度は両活動あわせて39校に委嘱しました。



中間報告の様子

12月3日の中間報告会ではグループに分かれ各学校の活動について発表し、参加者のふれあいや意見交換となる有意義な時間となりました。

『親子ふれあいデー活動』ではコロナ禍で制限がある中、親子で楽しむ時間を工夫されながら工作・伝統文化などの体験型の活動を実施されていきました。

『読書研究会報告会』では、子どもたちがたくさん本にふれ、親しむ事ができるよう様々な取り組みがされています。学校に行かれた時はぜひ図書室を覗かれてみてください。この活動を多くの方に知っていただき、繋がつて行くよう取り組んでいきたいと思ひます。

令和4年度 親子ふれあいデー活動

門松づくり、どんどこやで触れ合い

Report

人吉市立西瀬小学校

西瀬小学校は、人吉市の南西に位置し、球磨川が校区を東から西に流れる自然豊かな学校です。学校創立一四七年の伝統と保護者、地域の連携・協力、さらには、学校支援ボランティア等を積極的に活用した地域とともにある学校づくりを推進しています。

今年度で第36回を迎えた「どんどこや」は、本校PTAの大きな行事であり、新春の恒例行事として地域にも親しまれ、小正月の伝統文化の体験を通して、親子や地域の方との親睦を深めるよい機会となっております。

令和2年7月豪雨災害では7割近くの家庭が被災し、また、コロナ禍により、様々な活動が制限されましたが、保護者や地域が一体となり、活動の再開に向け、取り組みを進めている状況です。

12月3日には、親子で「ミニ門松づくり」を行いました。地域の学校支援ボランティア団体「門松会」の方に御指導いただきました。門松を製作しました。親子で竹を切り、葉ボタンやゆずりは、南天、もちのきなどを選び、思い



ミニ門松づくり



どんどこやの様子



学校の概要

- 人吉市エリア
- PTA会長 永田 政司
- 校長 浅生昇一郎
- 原稿執筆者 沢田 美穂
- 児童数 175人
- 教職員数 22人

令和4年度 親子ふれあい読書研究会

PTAと「大樹会」が協力した 読み聞かせ活動の推進

Report

山鹿市立鹿本小学校

鹿本小では、毎月の第2金曜日の朝、読み聞かせの活動を行っています。

読み聞かせをしていただくのは、PTAの「家庭教育委員」のみならず、そして地域の方を含めた学校応援ボランティアの「大樹会」の皆さんです。読み聞かせ当日の朝、家庭教育委員と大樹会の方は、校長室で待機していただきます。そこへ各クラスの子どもたちがお誘いに来ます。教室に行くまでの間、読み聞かせをしてくださる方と、とても楽しんで話をしています。子ども

たちは、この読み聞かせがとても大好きで、朝から「今日は○○さんが来て、読み聞かせだから楽し〜」という声が聴かれるくらい楽しみにしている子どもが多いです。読み聞かせをしていただく



拡大絵本を使った読み聞かせの様子



図書室前の掲示

皆様が工夫されていて、子どもたちのために、地域の図書館から拡大された絵本を借りて準備したり、パネルシアター形式で読み聞かせをしたりなどの工夫をしていただいています。今後は、家庭教育委員会を中心に集まり、活動の振り返りとともに、本選びについての情報交換や、ふれあい読書研究会活動助成金を活用させていただき、図書室の購入だけでなく、図書室掲示や設営の充実に取り組んでまいります。



学校の概要

- 山鹿市エリア
- PTA会長 市原 邦彦
- 校長 水田 剛
- 原稿執筆者 寒川 則広
- 児童数 443人
- 教職員数 39人

郷土の伝統を受け継ぐ地域の宝

山都町立清和中学校PTA

県北 上益城エリア

教職員数 17人

生徒数 43人

本校は上益城地域の東部、山都町の中央付近に位置する全校生徒43名の小規模の学校です。「夢の実現に向けて、共に努力する生徒の育成」という学校教育目標の基に、生徒一人ひとりが生き生きと学校生活を送っています。しかし、本年度も長く続くコロナ禍により一部の活動が縮小や中止を余儀なくされる状況ではありますが、そんな

がんばってまーす!



単P紹介

数々の思い出に感謝して

水上村立湯山小学校PTA

県南 球磨郡エリア

教職員数 13人

生徒数 26人

湯山小学校は九州脊梁山地に位置し、宮崎県と隣接した水上村にあります。市房山をはじめとする美しい山々に囲まれ、米やイチゴ、栗、お茶など農業が盛んです。温泉地でもあり、地域の民俗は、陸上選手など全国からアスリートが訪れる人気の合宿地となっています。このような環境に加えて、伝統的に地域の方々の学校に対する協力・支援体制が根付いている地域でもあります。ここ数年は、新型



最後の運動会の写真

コロナウイルス感染症のため活動が制限されてきましたが、今年度は、感染防止に配慮しながら様々な活動を行っています。その一つが米作りです。地域の皆さんにご協力いただきながら、田植え、稲刈り、脱穀もちつきまで全校児童と一緒に行うことができました。また、民宿に泊りながら登校する宿泊登校では、地域の方々と

中でも先生方や保護者の皆様のご協力をいただき、学校が一体となり生徒の成長を見守っています。この地域には古くから受け継がれている伝統芸能「清和文楽」があります。本校では伝統文化の体験活動として、清和文楽人形芝居や清和文楽所作踊りを薪文楽や学校の文化祭等で例年披露しています。また、本年度は特別な活動として、漫画「ワンピース」を題材にした清和文楽の新作「超龍鹿船出冬桜」(ちようばあふなでのふゆざくら)の披露に多数の生徒や保護者が携わりました。町内外の多くの方々と共に長期に及ぶ練習を経て、



尾田栄一郎 / 集英社 © 清和文楽新作制作事業実行委員会

校長 梶原 正臣
PTA会長 熊川 勇輝

昔遊びやランドゴルフなどで交流しました。本来、地域の方と合同で行っていた運動会は、残念ながら学校単独での開催となりました。それでも、6年生のおいちゃん、おばあちゃんや兄弟姉妹など家族全員参加しての「家族対抗玉入れ」、全児童二十六人対その家族で対決する「湯山小全員リレー」をPTA競技として行い、小規模校ならではの温かい気持ちがあふれる運動会となりました。本校は、令和4年度をもって閉校し、村内の学校と統合して義務教育学校になります。現在閉校記念事業実行委員会を立ち上げPTA全会員がメンバーになり閉校に向けた準備を進めています。湯山小学校で過ごすのもあと残りわずかですが、数々の思い出に感謝しながら、「一日を大切に過ごしていきたい」と思います。

校 長 白樫 明宜
PTA会長 濱川 隆浩
原稿執筆者 千葉富美子

三行詩コンクール

「家庭で話そう！我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ」今年も家族のきずなが伝わる、あたたかな作品が多数集まりました。本県からの入賞作品です。

小学生の部

がっこうからかえたら あたたかさを はなしたる	あさぎり町立 岡原小学校	宮原 琉大	おれがハチ子になったら ひいばあちゃん100さい 大事な花で繕いおいらいます	あさぎり町立 湯浦小学校	木下 鳳駕
かなしいこいやなこあつたり、 おかあさんママのあはれ。 心があつたくなる。	和水町立 菊水小学校	坂本 愛	母に算数教えてと言いつつ こおりの母 夜は母も私と同級生	芦北町立 湯浦小学校	塩永萌乃華

中学生の部

困った時の相談は 24時間年中無休の両親です	宇城市立 小川中学校	田代 劉晟	母とのけんか、ソファで寝た ふとんをきてないはずなのに 起きたら かかっているふとん 遠くへ行った姉たち 寂しくなると 言っただけ、横見でも後ろ見ても いるのは僕の影だけだ	天草市立 御所浦中学校	野口 瑠菜
------------------------	------------	-------	--	-------------	-------

一般の部

ゲームテレビ、YouTube、ゴム飛ばし、石けり、かくれんぼ、今と昔、内と外目と体、金額面でも大違い	和水町立 菊水小学校	坂井 明子	おうち時間も楽しいね 家族の心は 密になる	人吉市立 東間小学校	林田 大樹
下向いて話していたのに 見上げる顔に、満面の笑み	人吉市立 第二中学校	岡 真也	宿題の問題が分からない 父・母・息子 この時はかりは3密に。	芦北町立 湯浦小学校	三道 慎之
			反抗期 共通趣味に(会話倍増) 感動期	荒尾市立 荒尾海陽中学校	浦部希見子

学び多き研修会

講話「未来を担う子供たちを育むPTA活動」



家庭部員 緒方 ゆう子

9月10日、熊本県婦人会館にて家庭部会研修会が行われました。講話では「未来を担う子供たちを育むPTA活動」と題し、子供たちの将来の職業、学習指導における考え方や影響、PTAの役割等について熊本県教育庁社会教育課家庭教育支援班の小園貴寛様にお話しいただきました。講話の中で青少年の体験活動に関する調査結果の紹介があり、自然体験や生活体験など、幼いころから多くの経験をすることで、積極性や探求力、自己肯定感の向上などに影響があると知り、我が子との関わりを振り返るきっかけとなりました。またワークショップでは、自己紹介やスゴククを利用し、コミュニケーションをとることで打ち解けることができました。その後、「子どもたちのために」を目的に「できたらいいな、こんな活動」というテーマのもと、現在の状況を踏まえた企画案を出し合い、交流を深めることができました。今回の研修から、子どもの将来の状況や幼いころから多くの経験をしていくことの大切さを意識した上で、自らが楽しみ、子どもたちのためにできることから始め、今後の活動で活かしていければと思います。

**熊本県PTA連合会
小・中学生総合保障制度(こども総合保険)のご案内**
学校内外でケガをしたら…
自転車を運転していてケガをしたら…

PTA
賠償

2023年1月現在の内容です。

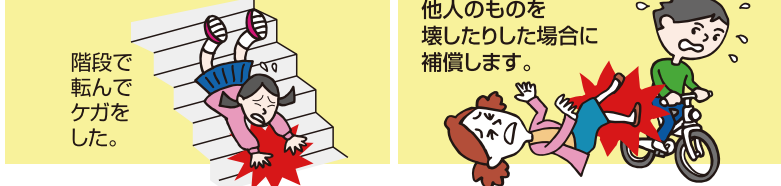
任意加入保険

小・中学生総合保障制度(こども総合保険)

お子さまを取り巻く様々な事故のリスクに対応します。
学校内外でのケガを補償します。

学校内外でのケガを補償します。

他人にケガを負わせたり、
他人のものを壊したりした場合に
補償します。



上記の他にも、病気補償・学校管理下動産補償・育英費用補償・被害事故補償
など様々な補償でお子さまをお守りします。 ※補償内容・保険金額はプランにより異なります。

●団体割引制度により保険料は約31%割引

当制度は、PTA団体加入制度のため、約31%保険料が割引かれています。
5種類のプランの中からお選び頂けます。
1年間の掛金 1,950円～(プラン・補償開始日により掛金は異なります。)
加入件数 / 約7,430件(2022年度)

※割引率について:このパンフレットで案内している保険商品の算出基準である保険料(加入者数20名未満の団体における保険料)に対しての割合を示します。適用される割引率は前年度の加入者数、過去の損害率等に応じて決定します。次年度以降、割引率が変更となる場合がありますので予めご了承ください。

この制度の詳細な内容は、こちらからも確認頂けます。

『小・中学生総合保障制度』
<https://www.pta-corin.com/>



お申込み・お問合わせ

熊本県PTA連合会 小・中学生総合保障制度事務局

TEL:0120-228-553

受付時間:平日/午前9時～午後5時 〒810-0022 福岡市中央区薬院4-3-5 セレス薬院5F 株式会社コーリン内
制度引受保険会社: AIG損害保険(株)、東京海上日動火災保険(株)、損害保険ジャパン(株)、三井住友海上火災保険(株)
Chubb損害保険(株)

ご加入の際には、パンフレットおよび重要事項説明書を必ずお読み頂いた上でお申し込みください。 S-230380(2023-12)

熊本県PTA共済からのお知らせ

PTA
共済

(財)熊本県PTA教育振興財団

春休み
期間の
ご注意

熊本県PTA共済は年度毎の加入となっています。本年度ご加入の共済期間は2023年3月31日までとなります。共済が適用される活動については、学校の卒業式後であっても、3月31日までの活動中の被災については共済が適用されます。

小学校6年生や中学校3年生などが、進学予定の中学校や高校などでの部活動などに3月中に参加する場合は、共済の対象とはなりません。また春休み中であっても、4月1日以後に本年度の学年、学級、部など実施される活動は、本年度の共済の対象とはなりませんので、ご注意ください。

自転車でもヘルメットをつけましょう!

出会い頭の事故が約半数を占めています!

本共済Pコースでは、生徒の皆さんの登下校中の交通事故にも共済金を給付しています。毎年、交通事故の大半が自転車による走行中の事故です。自転車による走行は事故の被害者のみならず加害者にもなる可能性があります。無理な横断や追い越しなどの危険な行為も見られるため、道路交通法、自転車安全利用ルールを守りましょう。交差点での一旦停止による安全確認をお願いします。令和5年4月1日より施行される改正道路交通法により、**すべての自転車利用者に対し走行時のヘルメット着用が努力義務**となります。通学時以外でも自転車利用時にはヘルメットを着用し、命を守る努力をしましょう。

新型コロナウイルス感染症、活動中の「感染予防対策」を、常に基本として継続しましょう

感染の拡大が止まらない新型コロナウイルス感染症です。無症状の感染者からの感染もあり、不織布マスクの使用が必要とされる場合には継続し、多くの人が密になって飲食をする、マスクの使用なしに室内の近距離で会話するなどの行為を避け、部屋の換気に努めましょう。

熊本県PTA共済に
関するご質問やご連絡

共済の対象となる活動の範囲、事故発生時の手続き、様々な手続きに必要な書類など、お気軽にお問い合わせください。

熊本県PTA教育振興財団事務局

■共済契約の手続

0800-200-5553

■共済金請求の手続

096-223-7119

令和4年度委員会報告

時代のニーズにあわせた広報を



広報委員会

委員長
亀崎 清貴

広報委員会では年2回「熊本県PTA新聞」を発行しています。今年度7月19日には、デザイン会社「ワタナベデザイン」様をお迎えして新聞作成の流れとして、原稿依頼までのコマ割りや依頼後の原稿チェックの方法・校正についての基礎から教えていただ

きました。発行する上での各自の役割や重要性を委員が再認識することができました。また、今回の184号を発行するにあたり県PTA研究会や県PTA本部等でも文書掲載を快くお引き受けいただきました皆様方にご紹介させていただきます。心から感謝申し上げます。

これからの、会員皆様方のご協力のほどよろしくお願い申し上げます。最後に、現在当連合会ではホームページのリニューアルを検討しております。新しいホームページができましたら皆様にご紹介させていただきますので楽しみにしてください。

『進化』するPTA活動へ



家庭教育委員会

委員長
橋本 昭

今年度はコロナ禍の中、初めてすべての委員会事業に取り組みことができました。私たち家庭教育委員会も6月24日に「ふれあい読書研究会」「親子ふれあいデー活動」委嘱式を、12月3日には中間報告会を行うことができました。また、9月10日に家庭部会と合同で開催している「家庭部会研修会」も人数制限こそ

ありませんでしたが、これまでとは目的を変えて、教育の原点である家庭教育の学びをさらに広げることができました。さらに、11月12日の県PTA研究会や県大会では、第4会場の家庭教育を担当させていただきました。講師に「あわぶく」代表の前田恵美子様をお迎えし、本の世界について講演いただ

きました。日頃、私たち委員会が取り組んでいる、ふれあい読書研究会に通ずる内容で大変勉強になりました。今後の委員会活動、PTA活動に活かしていきたいと思っております。今年度も委員会活動にご理解とご協力をいただきました皆様、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

よりよき学びの場を求めて



教養委員会

委員長
下山 幸之助

11月まで、熊本県PTA連合会の大きな事業となる研究会の計画、報告、実施が大きな役割となりました。やまが大会実行委員会が入念に考察し、計画を立ててくださったため、大きな問題もなく前日準備と当日を迎えることができました。委員会としても動いておりましたが、大会実行委員会が動きやす

い環境を用意することも、教養委員会の大事な役目だと感じました。また、参加者数も多く、実行委員会の皆様の思いが伝わったようで嬉しく思います。今年の研究会の経験を活かし、次期大会も参加者の皆様に「来てよかった」と感じていただけるよう努めてまいります。

研究会と並行して、2月に開催した単位PTAリーダー等研修会の計画も所属する委員で連携し、講師の選定など順調に進めることができました。昨年度は録画配信でしたが、本年は対面での開催となりました。たくさんの方にご参加いただきありがとうございました。

県Pのよりよい運営をめざして!



総務委員会

委員長
吉村 俊彦

本年度の総務委員会では、昨年度に引き続き県P連の運営において必要な規程の策定、事務の改善とICT化、ICT教育検討専門部会の設置を活動の中心としてい

ました。また、PTA活動におけるICT化の推進を図るため、グループウェアシステム活用の実証実験を行うこととしています。さらに昨年度から検討しているICT教育について、より具体的な調査・研究を行うため、本年9月の理事会において専門部会を設置。県内のICT教育発展に寄与するため、積極的

な活動を展開する予定です。総務委員会では今後も県P連の運営において必要な規程などのルール作りや、課題解決のための検討を行い、会員皆さまの会費によって運営している団体であることを自覚した組織運営の為に、委員一同取り組んでまいります。

令和4年度「熊本の心」優秀作文

令和4年11月18日(金)、熊本の心推進協議委員として「熊本の心」作文の審査会に参加しました。

「熊本の心」とは、「助けあい 励ましあい 志高く」の心であり、心豊かで潤いに満ちた郷土を築いていくために熊本県民が持ちたい心として県が提唱しているものです。県内在住の児童生徒を対象に、郷土愛・道徳心を高め、心豊かな熊本を創る「熊本の心」作文の募集をしました。2,100点を超える応募の中から予備審査により選出された166点の作品を読ませていただきました。その中から、熊本県PTA連合会賞に決定した作文を紹介いたします。

熊本県PTA連合会賞

「植林人生」を読んで

あさぎり町立
あさぎり中学校 1年 宮原 瑠菜

このお話は、犬童敬太郎さんという人が立派な山林を育てるために尽くした生涯が描かれている話です。私は、この話を通して、3つのことを学びました。

まず、自然を大切にすることです。私は、今、敬太郎さんが一生懸命植林されたあさぎり町に住んでいます。この話を読んで、今、あさぎり町が自然豊かなのは、敬太郎さんのような先人の方たちのおかげだと思います。敬太郎さんは、自分のことや目の前のことだけを考えるのではなく、未来のことを考えて行動してきていたのだと思うと、感謝の気持ちでいっぱいになります。自然は無限にあるものではないです。一生懸命に未来のことを考えて行動してくれたいのだと思うと、私たちが引き継いで行動していかなければならないと思います。私も自然が好きです。大好きな自然を守るために、一つ一つの行動を意識していか

なければならぬと思います。たとえば、無駄なものを買わない、物を大切にすることなどが考えられます。私たちは、先人の方たちがしてきたように環境に優しい生活を見習って行動していきたいと思っています。



熊本県PTA連合会賞を受賞した宮原瑠菜さん



「植林人生」本文

2つ目に、思いやりの心を持つことの大切さについて学びました。周りの人だけでなく、身の回りの物や植物までも大切にすることを敬太郎さんの言動から思いやりの心を学びました。私は、これから、誰に対しても、何に対しても平等に接し、常に思いやりの心を持ってられるようにしたいと思います。3つ目は、見通しを持つ力、計画性、行動力の大切さです。敬太郎さんは、未来の地域のこと、未来の人々のことなどを見通し、美しい地域にするために計画を立て、それを実現させるために行動していました。その敬太郎さんの行いから、見通す力、計画性、行動力を持つて生活することの大

切さを学びました。私は、これからたくさん経験を積んで、それらの力を身に付けていきたいと思っています。そして、敬太郎さんのように自分で考えて人の役に立つことを進んでできるようになろうと思っています。最後に、私は、この「植林人生」を通して、これからの生き方を学びました。敬太郎さんのような生き方を自分も見つけ、これからの生かしていきたいと思っています。そして、故郷あさぎり町の一員として、地域のために尽くされた方をもっと学び、町の良い所をもっと見つけて、このあさぎり町が故郷だと誇りを持って言えるよう、努力をしていきたいと思っています。

日P・県教委・九P等表彰

●公益社団法人日本PTA 全国協議会会長表彰

合志市立西合志東小学校PTA

菊陽町立武蔵ヶ丘北小学校PTA

個人

村崎 一英

園田 恭子

西田 恵介

佐伯 知彦

●優良PTA文部科学大臣表彰

玉名市立滑石小学校PTA

宇土市立宇土小学校PTA

八代市立東陽小学校PTA

●熊本県社会教育功労表彰 (知事表彰)

村崎 一英

園田 恭子

藤井 千秋

感謝状
園田 恭子
古澤 美和

●九州ブロックPTA協議会長賞

団体 玉東町立木葉小学校PTA

山鹿市立三玉小学校PTA

産山村立産山学園PTA

宇土市立走潟小学校PTA

八代市立一見中学校PTA

個人

藤井 千秋

坂村 寧浩

坂本 真二

植田 康介

岡本 麻美

堂園 なつみ

編集後記

旅立ちの季節です。子どもたちも成長し、少しさみしくなる親心。いつまでも背中を見せていける保護者でありたいですね。今年度も熊本県PTA新聞に目を通していただき、ありがとうございました。今後も、みなさんと繋がることを目的とした新聞づくりに励んでいきます。

SAGA そう 子どもの未来
見直そう PTAの力

第68回 日本PTA九州ブロック研究大会

佐賀大会

大会1日目(分科会) 令和5年 10/28 土

大会2日目(全体会) 10/29 日

【会場】 県内6会場 【受付開始】 12:00 【開演】 13:00

【会場】 SAGAアリーナ 【受付開始】 8:30 【開演】 9:00

【参加者】 九州ブロックPTA関係者(約6,000人)

【主催】 九州ブロックPTA協議会 【主管】 佐賀県PTA連合会